

令和5年度 図工科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・造形活動や作品への関心が高まり、自分からすすんで表現することができた。
- ・自分なりの見方で友達や自分の作品を見て、自分の表現活動に生かすことができた。

(2) 課題

- ・基本的な技能の習得や自分自身がもつイメージを自分の方法で表現する力に課題がある。
- ・豊かな発想や構想の能力を高めるための体験や活動が十分ではない。
- ・試行錯誤しながら表現を深め、自分の表現を納得いくまで続けていく経験が十分ではない。

2 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体の感覚を働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して創造的につくったり、表したりする活動において、基本的な技能を身に付け、定着していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら造形的な面白さや楽しさ、表したいことの表し方などについて考えることが出来るようになるため、体験や造形活動の機会を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている態度を育むため、造形活動ができる機会を増やし、より多く表現にふれられるようにする必要がある。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して創造的につくったり、表したりしていく造形活動のなかで、定着した技能を活用できるようにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら造形的なよさや面白さ、表したいことの表し方などについて考えることが出来るようになるため、体験や造形活動の機会を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている態度を育むため、試行錯誤しながら造形活動ができる機会を増やす必要がある。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具を活用し、表し方を工夫して創造的につくったり、表したりしていく造形活動のなかで、身に付けた技能を応用、活用して表現を深めていくことができるようにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら造形的なよさや美しさ、表したいことの表し方などについて考えることが出来るようになるため、体験や造形活動の機会を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい、主体的に進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている態度を育むため、試行錯誤しながら造形活動ができる機会を増やす必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能の習得や自分自身がもつイメージを自分の方法で表現できるようにするため、身近で扱いやすい材料や用具にふれて造形活動をする機会を増やし反復して技能を定着させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな発想や構想の能力を高めるため、体全体を働かせて造形に取り組める場や機会を増やし、思いをふくらませるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの見方、感じ方、考え方に沿った造形活動が展開できる機会を増やし、表現を深めていく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能の活用や自分自身がもつイメージを自分の方法で表現できるようにするため、絵や工作に表すための材料や用具を活用する機会を増やしていく。また、自分なりのイメージが深められるような材料や用具を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな発想や構想の能力を高めるため、十分に材料に触れる体験や多くの道具を使用するなど、多様な体験を通して発想の広がりを図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 表したいことに合わせて材料や用具を選び、造形活動に取り組む、表現できるようにするため、試行錯誤しながら造形活動を続けていく機会を増やしていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能の応用や自分自身がもつイメージを自分の方法で表現できるようにするため、自分の表したいことに合わせ、経験してきた表現方法や材料を選別し、新たに自分なりに工夫して表現できるような機会を増やし、材料や用具の充実を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな発想や構想の能力を高めるため、作品や材料、表現に触れる機会を増やし、発想や構想の広がりを図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 想像力や創造的な技能を総合的に働かせて表現できるようにするため、試行錯誤しながら表現を深め、自分の表現を納得いくまで続けていく機会を増やしていく。